

米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭【ショートショートフィルムフェスティバル & アジア 2026】

秋の国際短編映画祭特別プログラムの全貌発表！

三宅隆太監督（「クロユリ団地」脚本）の新作ワールドプレミア、
CapCutの世界公募作、東京発の気鋭クリエイター陣他
新世代のショートフィルムが集結

国際映画祭から次のキャリアを考えるクリエイターセミナー登壇ゲスト、
オンライン限定上映ラインナップ、公式オンラインストアのオープンも発表

2026年11月5日（木）～8日（日）

東京都写真美術館・kino cinéma新宿

11月9日（月）～11月22日（日）オンライングランドシアター



米国アカデミー賞公認の国際短編映画祭、ショートショート フィルムフェスティバル & アジア（SSFF & ASIA）は、2026年11月5日（木）に開幕する秋の国際短編映画祭の第2弾情報を発表します。

国内外の多彩なクリエイターによる短編映画を通じて、映画の新たな才能や映像表現の可能性を発信する本映画祭。今回、三宅隆太監督の新作『PSY DIVER -Episode1-』のワールドプレミアをはじめ、CapCutが世界公募から選出した作品群、きゃりーぱみゅぱみゅなどのミュージックビデオを手掛けるトップディレクター・田向潤さんら気鋭のクリエイターが参加する「TOKYO STORIES season 2」など、ジャンルや手法を横断した特別プログラムが決定しました。

さらに、国際映画祭への参加を次のキャリアにつなげるためのクリエイターセミナーと連動した上映企画や、オンライン会場限定の「SNSアンバサダーPicks」など、作品との出会いを広げる企画も展開。

映画祭初となる公式オンラインストアも開設し、映画を観るだけにとどまらない、多彩な楽しみ方を提案します。

新たな才能との出会いから、最先端の映像表現、クリエイターの未来を考える機会まで。SSFF & ASIA 2026 秋の国際短編映画祭に、ぜひご注目ください。

<https://www.shortshorts.org/2026autumn>

注目の生成AI×ショートフィルムの最前線、そのラインナップ全貌を公開！ 『クロユリ団地』脚本家作品やCapCut×AI、東京の新進クリエイター作品をチェック

今秋のSSFF & ASIAでは、映像制作の新たな可能性を切り拓く「生成AI×ショートフィルムの世界」を3つのプログラムで展開。

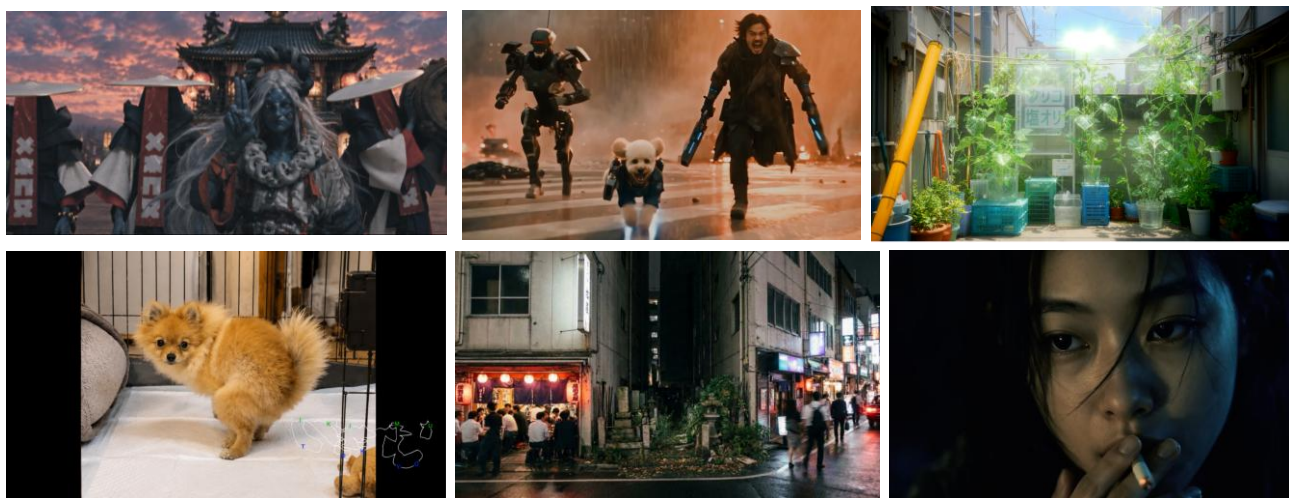
11月5日(木) 12:30-14:00 / 14:20-15:50
@ 東京都写真美術館

■ TOKYO STORIES_season2

東京に蠢く才能あふれるAIショートを一挙上映&26名のクリエイターが登場

6月のSSFF & ASIA 2026で上映したプロジェクトに続くTOKYO STORIESの第二弾。きゃりーぱみゅぱみゅ等のMVを手掛けるトップディレクター田向潤をはじめ、世界23カ国で展示を行うデジタルアーティストSAEKO EHARA、GEEK PICTURESの生成AIチームを牽引する岸谷叙南、クリエイティブディレクターのくろやなぎてっぺい、東京藝大出身でサイバーエージェントにて彫刻とAIの融合を追求する田中地平、実写とAIを掛け合わせた表現で注目を集める演出ユニットBANTAIZなど、広告・映画・アート・ITの第一線で活躍する新進気鋭のクリエイターが集結。それぞれの感性と最先端技術が交差する、全く新しい27の「TOKYO」を描き出します。
※11/05(木) 12:30-14:00および14:20-15:50の二回に分けて上映。当日は26作品を上映、26名のクリエイターが登場

<上映作品(抜粋)>



左上より、田向潤『TOKYO 東奇妖』、岸谷叙南『TOKYO BASTARDS』、SAEKO EHARA『TOKYO FRAGMENTS』、くろやなぎてっぺい『いきむ TOKYO』、田中地平『Tokyo Light Drawing』、BANTAIZ『TOKYO HEAVEN』

■ CapCut AI Filmプログラム

CapCutを使用しAIで制作されたショートフィルムを世界公募。選抜された9作品を上映

11月7日(土) 15:50-17:10
@ kino cinéma 新宿

動画編集アプリ「CapCut」が、AIを活用した新たな映像表現に挑戦する世界中のクリエイターを対象に作品を募集。100作品以上の多彩な応募の中から選出された9作品を、特別プログラムとして上映。多様なクリエイターがそれぞれの視点からAIと向き合い、新たな映像表現やストーリーテリングに挑戦した作品群をお楽しみください。

※11/5(木)～8(日)の映画祭期間中、@ kino cinéma 新宿では、CapCutの直感的な編集機能や多彩なAIツールで初心者からプロのクリエイターまで、誰もが自由にアイデアを形にできる環境を体験いただくブースも展開

<上映作品>



左上から一段ずつ：『まだ生成中』(STILL GENERATING) Eru Styles監督 / 『再逢』(REUNION) ねれ監督 / 『描きかけの橋』(THE UNFINISHED BRIDGE) toki監督 / 『IMMUNE PRIME』 テクトークナビゲーター監督 / 『僕らの帰る場所 — THE GREAT JOURNEY —』 / (THE GREAT JOURNEY -Our Way Home-) 重松秀哉監督 / 『ハロウィン・ナイト』 Nagi Story Music / 『柚の約束』(Yuzu's Promise) 藤田 敢登監督 / 『おかえりなさい〜REIZOUKO〜』(Welcome Home — REIZOUKO) 岡田直之監督 / 『くさらび』(kusarabi) minima監督

■TOPVIEW AI映画上映プログラム with 三宅隆太監督

三宅隆太監督による新作AIショート他の全3作品のワールドプレミア上映&トークセッション

11月8日(日) 14:10-15:30
@ kino cinéma 新宿

「クロユリ団地」などの脚本で知られる三宅隆太監督が、AIクリエイティブプラットフォーム「TOPVIEW」を活用して制作した最新AIショートフィルム『PSY DIVER -Episode1-』のほか、シンガポールから『センターに立つ日』、中国から『土に還りたい』をワールドプレミア上映。当日は三宅監督と、アリババ（Alibaba Japan）1期生を経て最先端AI映像プラットフォームを展開するTOPVIEW AI JAPAN代表の呉垠（Gin）氏、ハリウッド映画化プロジェクトやイマーシブエンタメを手掛けてきたプロデューサーの寺地真一氏（株式会社アシタヘ代表）が登壇し、生成AIおよび映像ビジネスの第一線で潮流を生み出すキーパーソンたちによる、技術とエンタメビジネスの双方から映画制作の新たな可能性を話すトークセッションを実施します。

<上映作品>



『PSY DIVER -Episode1-』

監督：三宅隆太 / 日本 / 2026

穏やかな秋の川辺で、見知らぬ男が青年に投げかけた奇妙な問い。「ここはどこか、今はいつなのか」。一方、富士の樹海にある研究施設では、ある極秘実験が失敗していた。窮地に陥った女性研究者ミドリは、かつて研究所を去った元夫シゲルを呼び戻す。そこで彼を待ち受けていたのは、二度と関わりたくなかった過去と、迫り来る未曾有の危機。人間の意識の奥深くへ潜る危険な任務。その先には、誰も予想し得ない世界が広がっていた――。



『センターに立つ日』

監督：Xu Xiang /シンガポール / 2026

人生は、一度きり。十年前、ミラはひとりソウルに降り立った。誰もが無理だと笑った夢を抱いて。異国での孤独な練習生生活。浴びせられる嘲笑、誰も口にしない業界の掟。光の届かない場所で、それでも彼女は、小さな灯火のように燃え続けた。そしてある夜、運命が動き出す。デビュー直前、突然空いた「代役」の一枚。十年分の想いを胸に、彼女はセンターへと歩み出す――その一步が、K-POPの新しい時代の幕を開ける。



『土に還りたい』

監督：NIKO 宋卓翰/約5分 /中国/2026

ロボットが完全な感情と人間関係を手に入れ、人間に代わる「社畜」となった世界。彼らは指令に追われ、時間を生産性のために費やしてきた。電源が落ちる瞬間、彼らは後悔するのだろうか。立ち止まらず、空を見上げず、自分だけの時間を持てなかったことを。時間に満たされることは、生きたことと同じではない。廃棄指令が下された日、彼らは自らに名前をつけ、遺影を撮り、土に還ることを選んだ。初めて指令に背き、時間を自分に返した。電源が切れる瞬間、「彼女たち」は本当の自分になれた。機械でさえ、生きなかったことを悔やむのなら。あなたはどうか。

<登壇ゲスト>



三宅隆太（脚本家・映画監督・スクリプトドクター）

1972年、東京生まれ。助監督・撮影/照明助手、MVディレクターを経て脚本家・監督に。日本では数少ないスクリプトドクター（脚本のお医者さん）として、国内外の映画・ドラマ企画に多数参加。東京藝術大学大学院で教鞭を執るほか、TBSラジオ『アフター6ジャンクション』の映画談義でも親しまれる。主な作品映画：『神在月のこども』『クロユリ団地』『劇場霊』『呪怨 白い老女』ほかドラマ：『デッドストック〜未知への挑戦』（ハリウッドリメイク進行中）、『ほんとにあった怖い話』『ケータイ刑事』ほか実績・受賞スクリプトドクター参加作『浅田家！』が第44回日本アカデミー賞 優秀脚本賞同『BLUE GIANT』は劇場公開で大ヒットAI映画『轍 -WADACHI-』が World AI Film Festival 2026 in KYOTO 審査員特別賞著書に『スクリプトドクターの脚本教室（初級編／中級編）』ほか

寺地真一（株式会社アシタヘ 創業者・代表取締役社長）

1996年生まれ。早稲田大学法学部卒業。株式会社アカツキで日本原作の米映画のプロデュースを経て、2022年に株式会社アシタヘを設立。講談社と『30分でわかるマクベス』を共同製作。短編映画『Funny』でリッチモンド国際映画祭観客賞を受賞。ショートアニメ『オモカノ』はSNSで10万フォロワーを達成。小出恵介主演のショートドラマ『3000万稼げ！』はSNS総再生数1億9000万回、作品収益1億円を突破。ジャンルを超えて日本から世界へ作品を届ける。



呉垠(Gin)（TOPVIEW JAPAN株式会社 代表取締役社長）

慶應義塾大学卒業。北京生まれ東京育ち。アリババ新卒1期生として越境EC「Tmall Global」立ち上げに参画、日本の大手企業約50社の中国進出を支援。美容機器メーカーで中国EC事業100億円超を達成。AIコンテンツの可能性に惹かれ、AI動画生成プラットフォーム「TOPVIEW」にジョインし、日本法人代表取締役社長に就任。日本でのAIコンテンツの普及と、AIで生まれる長編作品の可能性を届けることに挑んでいる。



ショートフィルムを世界へ：映画祭からマーケット、次のキャリアへ トークセミナー連動の上映プログラムに6名の監督作品が決定

<上映> 11月5日（木）16：10～17：40

<トークセミナー> 11月5日（木）18:00-19:30

@ 東京都写真美術館

左上より一段ずつ：Peter Clay、十川雅司、田中雄之、
中田雄一郎、なかねひろみ、松下ユリア（敬称略）

カンヌ国際映画祭の若手才能育成部門「Cinéma de Demain」のもと、短編映画や新進クリエイターと国際映画業界をつなぐ Short Film Corner | Rendez-vous Industryの総責任者、フロリアン・フェルナンデス氏が映像出演するトークセミナーには、国内外の映画祭や配信領域で多彩に活躍する**Peter Clay**監督、地域に根ざした独自の映画制作で注目を集める**十川雅司**監督、伝統芸能や教育・研究を融合した映像制作に挑む**田中雄之**監督、カンヌをはじめ世界70カ国以上で作品が上映された**中田雄一郎**監督、数々のドラマ助監督を経て初監督作で数々の賞を受賞した**なかねひろみ**監督、英・波・日を拠点に映画・美術・舞台を横断して表現する**松下ユリア**監督の6名が登場し、自作の予告編とともに国際映画祭からのキャリア展開や作品の可能性についてプレゼンテーションを行います。さらに、トークセミナーの前には6名の監督による作品上映プログラムも併設。お見逃しなく。

【オンライン会場限定】「SNSアンバサダーPicks」ラインナップ決定

映画好きの中でも、ショートフィルムに着目して作品のレビューやオススメを発信している、秋の国際短編映画祭SNSアンバサダー20名が選んだのは、ショートフィルムらしい見事な起承転結と一筋縄ではいかない展開が爽快な『インスペクター』、ショートフィルムとは思えない圧巻のCGクオリティと迫力のレースシーンで魅せる『ストライプ命懸けのレース』、わずか6分半に緊迫感と疾走感を凝縮した新鋭ホラー『GONE WRONG』、1本の電話相談から生まれる温かい人とのつながりに心癒されるドキュメンタリー『パン作りホットライン』、日常のトラブルを俯瞰で描くシュールでクセになる構造が面白い『小さなトラブル』の5作品。

映画祭オンライングランドシアターで「SNSアンバサダーPicks」として限定公開いたします。

SSFF & ASIA 2026

秋の国際短編映画祭

SNSアンバサダーPicks

5



<鑑賞方法> 配信期間：11月9日（月）～22日（日）

URL <https://app.lifelogbox.com/shortshortonlinegrandtheater>

オンライン グランド シアター鑑賞パスポートをオンライン会場にてご購入下さい。

早割り 9/29（火）16:00～11/8（日）：国内1,000円、海外5ドル

通常料金 11/9（月）～11/22（日）：国内1500円、海外8ドル

映画祭初の公式e-コマース（オンラインショップ）オープン&事前購入特典

**SHORTSHORTS公式オンラインストアが
11月5日オープン！購入者限定の記念特典も**

2026年11月5日（木）に映画祭公式のオンラインストアをオープンいたします。
これまで映画祭会場などで販売してきたオリジナルTシャツやトートバッグをはじめ、新たなオリジナルアイテムを展開。
映画祭の世界観を日常でも楽しんでいただけるグッズをお届けします。
さらに、オープンを記念して、ご購入いただいた方へのオリジナルステッカープレゼントも予定しています。
販売商品や特典の詳細は、映画祭公式サイト・SNSにて順次お知らせします。

SHORTSHORTS OFFICIAL STORE
<https://shortshorts-official.stores.jp/>



SSFF & ASIA 2026 秋の国際短編映画祭 概要

■期日および会場：

＜上映・イベント会場＞

東京都写真美術館ホール 11月5日（木）

kino cinéma新宿 11月6日（金）～8日（日）

サテライト会場：東京ミッドタウン日比谷 日比谷シネマフェスティバル

※作品により上映開始時間が異なります。ウェブサイトにてご確認ください。

＜オンライン会場＞

オンライン・グランドシアター 11月9日（月）～11月22日（日）

オンラインサテライト会場：ブリリア ショートショートシアター オンライン

10月7日（水）～食のプログラム

11月4日（水）～世界の映画祭プログラム

■チケット予約・販売中

【上映会場】

＜無料＞

・東京都写真美術館ホールでの上映、イベント

・日比谷シネマフェスティバルでの上映

＜有料＞

・kino cinéma新宿

●1プログラム・イベント 一般前売り：1,500円、一般当日：1,800円

●大学生前売り：1,200円、大学生当日：1,500円

●小学生・中学生・高校生：前売り：1,000円 / 当日：1,300円 未就学児（小学生未満） 無料

【オンライン】

＜オンライングランドシアター＞

早割り 9/29（火）16:00～11/8（日）：国内1,000円、海外5ドル

通常料金 11/9（月）～11/22（日）：国内1500円、海外8ドル

＜オンラインサテライト会場＞

ブリリア ショートショートシアター オンライン（無料）

■主催：ショートショートアジア実行委員会／共催：東京都／後援：J-WAVE／協賛：日本直販株式会社／株式会社
TYO／CapCut／TOPVIEW JAPAN株式会社／提携企画：第39回東京国際映画祭／ARTE TOKYO／会場協力：
kino cinéma新宿／協力：有限会社 ディレクト・ネットワークシステムズ

■ウェブサイト：<https://www.shortshorts.org/2026autumn/>



【本件に関するお問い合わせ先】

ショートショートアジア実行委員会 担当：田中 TEL：03-5474-8201 press@shortshorts.org

画像のダウンロード：

<https://drive.google.com/drive/folders/19eO7JXAOWifiQNOGblfS9rUUA1n8NK0I?usp=sharing>